

巣舞る通信



第20号 2011年12月

冬

2012年スローガン「^{はぐくむ}育夢創造Ⅱ」

社長塾ならぬ社聴熟！
ブランドのもつ意味とは：

2011年も大勢の皆様にご愛顧・ご支援いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

2011年11月1日(火)に第一回社聴熟が開催されました。タイトルが「社聴熟」。漢字の間違いを指摘されそうですが、間違いなく「社長塾」ならぬ「社聴熟」！であります。

社長塾！の開催リクエストが幹部からやって来たのはつい最近の話です。事の発端は、現場監督T君が、弊社で10数年前に建築のお手伝いをさせて頂いた高田教会（上越市）の内部に入った時にその空間にびっくりしたことから始まりました。難しい現場で監督も職人さんも、さぞ頭を悩めたことだろうと感嘆したというのです。その話を聞いた時に課長W君が「あっ！そうか。新しい社員は高田の昔の建物を知らないんだ！」と今更ながらに確認したのです。その辺の話を社長にしてもらおうと言うところからの発案でした。

受ける側からは“社長塾？いまさら何を？”と言われそうですが？

若いスタッフも多くなってきました。初心にかえて、高田建築事務所の存在そのものを見つめ直す良き時期に来ているのではないかと思います。

もともと企業そのものは環境適応業と言われていました。どんどん変化する環境に適合して進化しなければ必要とされない会社になることも事実です。昔のことなど愚の骨頂と一笑されるかもしれませんが、起業当時の爆発する様なエネルギー（勿論当時は無我夢中であるから内側にいた本人達は判っていなかったのですが）から様々な高田建築事務所独特のデザインが生まれ・コンセプトが作られ物語が形成されてきたことも否めない事実であります。

その当時のシーンも若いスタッフには是非とも伝えたい。現在のタカダの形になって表れる前のエネルギーを伝えることで、タカダイズムやタカダシンキング・タカダフィロソフィーを共有したいのです。

そして、長年かけて培われてきた高田建築事務所のコンセプト・こだわりやもの・こと、そして巣舞の物語づくりを大切にしていきたいのです。大小は別にしてもそれが高田のブランドだとすれば、高田建築事務所の巣舞づくりに期待しておいでになるクライアントの要求を決して裏切ってはならないからでもあります。ブランドと言うと何か高邁に響きますが、決してそうではなく、どんな企業にも活動しているからには、個性と特徴があります。お客さまが長年かけて期待しているものが、ブランドだとすればタカダブランドにお答えできる体制を維持しなければならないからです。

社聴熟開講の目的を一言集約すれば：そのタカダブランドを共有させ育成させよう、と言うものであります。

弊社の今年の重点課題は、「育夢創造（はぐくむそうそう）」。社長のしなければならない仕事の一つに社員教育があります。

スタッフ一人一人の技術向上・モラル向上は社会人として必要不可欠です。そんな折しも、会社幹部からも背中を強く押され、社長塾開催への運びとなったのです。

しかし社長塾と書くと、どちらかと言えば一方通行の話になってしまったり、上から目線になりそうな危険も孕んでいます。

そこで、私の方でテーマ・課題を投げかけて一つの実例を挙げてその時に考えていたこと、とった行動の検証をし、参加スタッフと活発な意見交換をして行こうと言うものです。

社長が聴くから社聴+どんどん過去と未来をミキシングして熟させていく塾にしようと言うことであります。

今年、高田建築事務所も築縁様・木族の会の皆様・社員スタッフそしてそのご家族様に支えられて35周年を迎えることとなりました。

企業寿命28年説がある中で、仕事を35年させて頂いたことに感謝とありがたいの一言であります。

しかし、高田建築事務所は私がゼロから起業したと言うよりも、元々は親父の会社であるタカモク（旧高田材木店）と言う土台があったからこそ今日まで来れたことを否めません。その分受けた恩恵も大きかったのです。タカモクの社歴は61年で、私と同年です。（私が生まれた年に親父が材木店を立ち上げさせて頂いた）換算すればタカモク26年目のステージから高田建築事務所ロケットが打ち上げられたのであり、まさに一段ロケットに乗った二段ロケットの発射でした。

これからも夢と希望を持って、ダイナミックの中にも安全を求めて宇宙航海していきたいと思います。

2012年のスローガンを本年に引き続いて「育夢創造Ⅱ」とさせて頂きました。

皆様の「夢のある楽しい我が家を目指した巣舞いづくり」のお手伝いをさせて頂けたら幸いです。

それでは皆様ご家族のご健康とご平安を祈念し、2012年も宜しくお願い申し上げます。



<http://www.takada-arc.com>

(株)高田建築事務所
代表取締役社長
高田 清太郎



日向ぼっこ！夢ぼっこ！

今年、新潟大学の建築コースの大学院生を対象に、非常勤講師の拝命を受けて集中講義を開催させていただいています。テーマは、「建築と倫理」。課題は「理想の建築」。高校時代の倫理社会があまり好きではなかった私には、とても荷が重いテーマでした。しかしいざ取り組んでみると社会において最も大切なことの一つであり、すべてにおいて倫理的視点が問われているといっても過言ではありません。結果として講師というよりも自分自身が、建築と倫理に1から育む年になりました。（詳しくは、ブログ「千一朝物語」をご覧ください。）